

## 4/20 火遊びは絶対にしません

北見地区消防組合消防署置戸支署は、春の火災予防運動の特別行事として、こどもセンターどんぐりの園児による「一日ちびっこ消防士」を実施しました。最初に参加園児一人ひとりに委嘱状が交付され、「防火の誓い」を全員で唱和。その後、園児たちは防火衣を身にまとい、ミニ消防車による放水訓練や消防車の見学などを行い、火災予防への関心を高めていました。



## 4/24 おけと湖へワカサギを

冬のおけと湖氷上釣りのためのワカサギのふ化準備作業が、町ワカサギふ化放流施設で行われました。職員など14人は、網走から搬入した3千万粒の受精卵を、木枠にシュロの木の繊維を張った「ふ化盆」と呼ばれる付着器に付着させ、並べて水槽に沈める作業に励みました。卵は2カ月ほどで稚魚となり、自然流下しておけと湖へ直接放流されます。



## 4/29 つくる楽しさを体験

4月29日から5月5日、どま工房で「木のおもちゃ・モノづくり広場」が開催され、期間中約330人が「つくる楽しさ」を体験しました。訪れた家族連れなどは、木トンボやパズルといった木のおもちゃや、草木染め、羊毛を使った小物づくりなどに挑戦。自分だけのオリジナル品の完成を目指して、削ったり、磨いたりして、大人も子どもも製作作業に没頭していました。



## 5/10 交通事故死ゼロ3500日達成

置戸町内の交通事故死ゼロの日数が5月2日で連続3500日に達し、記念の住民大会が中央公民館で開かれました。大会には、町民80人ほどが参加し、道知事感謝状などが井上町長に伝達されました。新目標は4千日で、達成日は平成25年9月14日。参加者を代表して町老人クラブ連合会会長などが交通安全に気を配ることを宣言し、誓いを新たにしていました。

